

# 学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	社 会	実施学年	2 年	週時数	3 時間
-----	-----	------	-----	-----	------

## 1. 学習の目標等

学習の目標	<p>[地理的分野]</p> <p>○日本の諸地域の地理的な特色を理解できる。          ○地図の読図や作図を通して考えたり、表現したりすることができる。          ○地図を活用した事象の説明、自分の解釈を加えた論述、意見交換などができる。          ○世界的視野から見た日本、および日本全体から見た日本の地域的特色を理解できる。</p> <p>[歴史的分野]</p> <p>○我が国の歴史の大きな流れを理解し、各時代の特色を理解できる。          ○その時代を大観して表現する活動や各時代の変革の特色から時代の転換をとらえ、歴史的事象について考察、判断しその成果を自分の言葉で表現できる。</p>
使用教科書・副教材等	教科書；東京書籍「新しい社会 地理」・「新しい社会 歴史」 地図帳；帝国書院「中学生社会科地図」 副教材；浜島書店「千葉県版 つながる歴史」 新学社 「社会の自主学习 歴史2・3 地理2」

## 2 (1) 学習計画および評価方法等 <6月1日現在>

	月	学習内容	学習のねらい	備 考	テスト範囲
第 1 学 期	6  7	<p><b>【歴史分野】</b>                      (4)近世の日本                      ①ヨーロッパ人との出会いと全国統一                      ②江戸幕府の成立と鎖国                      ③産業の発達と幕府政治の動き（元禄文化まで）</p> <p><b>【地理分野】</b>                      (1)日本のすがた                      (2)世界から見た日本のすがた                      ①日本の自然環境                      ②日本の人口</p>	<p>・ヨーロッパ人の来航が日本に与えた影響を考えることができ、さまざまな面から全国統一事業の背景と成り立ちを理解する。                      ・江戸幕府の仕組みと政策の変化を読み取り、産業や人々の生活の様子を理解する。</p> <p>・日本の国土の位置や領域、日本の地域構成を理解する。                      ・世界的視野から日本の地形や気候の特色、日本の人口密度、少子高齢化の課題などについて理解する。</p>		定期テスト  ハート点検
第 2 学 期	9  10	<p>③日本の資源とエネルギーと産業                      ④世界と日本の結びつき</p> <p><b>【地理分野】</b>                      (3)日本の諸地域                      ①九州地方                      ②中国・四国地方                      ③近畿地方</p>	<p>・資源エネルギー問題、交通通信網の発達や物流や貿易と外交の一端について理解する。</p> <p>・各地方の自然、産業、生活、文化、歴史的背景などについて概観し、基礎的、基本的な知識を身につける。</p>		定期テスト  ハート点検

期	11	④中部地方 ⑤関東地方 ⑥東北地方 ⑦北海道地方	(日本の諸地域から進度によって歴史・地理は順番を入れ替える		定期テスト
	12	(4)身近な地域の調査	・身近な地域の調査を通して、地図に関する知識と調査および発表の方法を身につける。		ノート点検
第 3 学 期	1	【歴史分野】 (4)近世の日本	・改革と社会の変化、新たな文化、外交の修正などを理解する。		
	2	③産業の発達と幕府政治の動きの続き (江戸の諸改革と外国船の出現)			
	3	(5)開国と近代日本の歩み ① 欧米の進出と日本の開国	・欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。 ・開国と幕府滅亡までの原因と過程を理解する。		定期テスト 学年のまとめ ノート点検

### 3 (1) 評価の観点及び内容

	評価の観点及び内容
社会的事象への 関心・意欲・態度	・社会的事象に対する関心を高め、追求し、考え、自覚を持てる。 授業への取り組みを中心に、レポート・作業プリント・白地図等の提出状況や内容、ノート点検の結果などから評価する。
社会的な 思考・判断	・課題を見だし、多面的・多角的に考察し、公正に判断する。 資料をもとに考えて社会的事象を正しくとらえているかを発言、レポート、作業プリントの記述内容、調べ学習で記述内容、発表内容で評価する。また、定期テストの思考・判断の力を問う問題での解答内容も加味する。
資料活用の 技能・表現	・情報を適切に選択・活用し、追求・考察した過程・結果を表現できる。 適切な資料を探したり、適切に資料を読み取ったりしているかを発言や資料に基づく調べ学習・レポート等の取り組み状況で評価する。定期テストの資料活用を問う問題での解答内容も加味する。
社会的事象につ いての知識・理解	・社会的事象の意義や特色などを理解し、知識を身につける。 基本的なことがらについて正しく認識をしているかを授業態度やノート、小テスト、定期テストから評価する。

### (2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=2点 B=1点 C=0点として4つの観点別評価を合計し、下記の表に照らして算出します。

評定	観点別評価の合計
5	12点
4	10～11点
3	7～9点
2	5～6点
1	4点